

第2回 横浜市金沢区地区センター指定管理者選定委員会 会議録	
日 時	令和8年8月24日（月）9時30分～18時40分
開 催 場 所	金沢区役所6階2号会議室
出 席 者	柴田委員、金森委員、佐野委員、山崎委員、森委員
欠 席 者	なし
開 催 形 態	公開（傍聴人：なし）※一部非公開
議 題	1 応募団体の面接審査 2 指定候補者の選定審議
決 定 事 項	1 委員会の公開・非公開、面接審査の進め方、採点方法については、第1回指定管理者選定委員会で審議・決定した内容のとおりとすることを確認した。 2 今回公募8施設の指定候補者、次点候補者を次のとおり決定した。いずれの施設についても、指定候補者となるための選定委員会の定める最低基準点（加減点項目を除く評価基準項目の合計の5割以上）を満たすことを確認した。 <六浦地区センター> 指定候補者：株式会社有隣堂 次点候補者：特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会 <富岡並木地区センター> 指定候補者：株式会社有隣堂 次点候補者：特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会 <金沢地区センター> 指定候補者：特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会 <釜利谷地区センター> 指定候補者：特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会 <能見台地区センター> 指定候補者：特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会 <六浦スポーツ会館> 指定候補者：特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会 <柳町コミュニティハウス> 指定候補者：特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会 <並木コミュニティハウス> 指定候補者：特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会 3 報告書の作成、議事録の確認は委員長に一任する。
議 事	1 応募団体の面接審査 各施設、応募1団体あたり15分間のプレゼンテーション後、10～20分程度の質疑応答を行った。各審査の主な質疑応答及び意見を以下に記載。 (1) 六浦地区センター ア 団体A（特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会）委員）黒字の施設の有無と赤字の原因について。

	団体) 黒字の施設はない。大きな原因はコロナ禍をきっかけとする利用料金収入の減少、物価上昇、人件費の増額、光熱水費の上昇。 委員) 利用料金の値上げは行わないのか。 団体) 料金水準を維持することが地域の方のメリットになると考えている。 子供たちが使える時間は個人利用のままとし、子供たちが学校にいる時間帯を団体利用とすることで、利用者の利便性を向上させる。 委員) 個人利用は大切にしてほしい。災害時使用される施設であり、日頃からなじめるようにフラッと立ち寄って利用できる自由な場所であってほしい。 委員) 学生の利用向上の方法・企画について。 団体) 高校生・大学生に向けて地区センターのチラシ配布。金沢地区センターでのポイントサービスの実施や、金沢地区センターを中心とした横浜市立大学と若い世代の利用についての研究成果を他施設でも水平展開したい。 委員) 地域に関心を持つ学生もいるので、利用者としてだけでなく、共に地域を盛り上げる担い手として期待できると思う。 イ 団体B (株式会社有隣堂) 委員) 稼働率向上の改善策の効果について。 団体) 和室で麻雀教室を実施し、サークル化し、継続して施設利用しており、和室稼働率が改善した。新たな講座の企画とサークル化支援により定期的な利用につなげ、向上に繋げたい。 委員) 地域の様々な団体(学校・町内会)との交流・連携について 団体) 施設利用の他、地域団体・施設お互いの会議に参加している場合もある。また、様々な地域の団体が六浦フェスタに参加している。 委員) 地域のニーズについて、どのように把握しているか。 団体) 利用していない方のニーズ把握のため、自治会・町内会を通じてアンケートを実施予定。 (2) 富岡並木地区センター ア 団体A (特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会) 委員) 地域が抱えるニーズ・課題の認識について。 団体) 地域のつながりは強いが、シーサイドタウン地区は開発当時の在住者は高齢化、その一方で外国籍の方も増えており、まちづくりの担い手が減っている。地区センターとして助けができないかと考えている。 委員) 人件費抑制は難しいか。 団体) 人件費上昇分は指定管理料の一部として支払われ、当団体で負担していた人件費は解消される。令和7年度決算については赤字だが、大幅に縮減している。次期には赤字解消し、黒字になる見込み。 委員) 縮減したのは物価高騰支援があったからでは。 団体) 増加分のすべてを指定管理料の中で補填してもらってはいない。 委員) 新規応募だが、現在の利用者が気に入ってる点はどのように把握し、運営す
--	--

るのか。

団体) 大幅な変更は混乱を招くため、現指定管理者のやり方・質を維持し、利用者にとって納得いただける変化の下、運営したい。

イ 団体B (株式会社有隣堂)

委員) 稼働率向上の取組が若年層を中心だが、高齢者の利用は多いのか。

団体) 高齢者の利用は多い。子育て世代の利用は強化する余地があると考えている。これから若年層が増える環境にあるため、呼び込めるよう取り組みたい。

委員) 若年層の利用への取組について、その世代はHPを見るのか。アプローチを考える必要があるのでは。

団体) HPはあまり見てもらえないかもしれないがSNSでの発信を実施。SNSに加えて、近隣の学校へのアプローチで改善できると考えている。

委員) 講座に初心者コースを設けると入りやすいのでは。講座のネーミングが素敵。

(3) 金沢地区センター

ア 団体A (特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会)

委員) 横浜市大との共同を通してどのような策を考えられているか。

団体) 地域ニーズを検討した上で、対象を決めて事業展開を検討。

委員) インクルーシブな対応や障害のある方でも参加できる事業について。

団体) 講座の内容が許せば障害のある方でも参加いただいている他、施設利用時は施設側で支援している。事業実施は今後検討したい。

委員) 公会堂連携の事業があるのは良い。スポーツ広場活用として、グラウンドゴルフ大会は地域高齢者の需要があると思う。

(4) 釜利谷地区センター

ア 団体A (特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会)

委員) 多世代間の交流ができる場と記載があるが、将来の利用者の開拓という記載はその点と関連があるのか。

団体) 地域の高齢化が進んでおり、コロナ禍を経ての団体数減少は利用者減少の一因。若い人に地区センターを知ってもらって、地域にずっと住んでももらえれば拡大に繋がると思う。

委員) 若年層への広報について。

団体) 小学生同士声をかけあって来館している。Wi-Fi環境をきっかけに夏休みも利用あり。幼児については、プレイルーム利用・絵本を選びに来た際に、シールを受付で配布している。

委員) 普段利用している子供たちだけでなく、来づらい子たち、友達のネットワークがない子にも情報が届くといい。

(5) 能見台地区センター

ア 団体A (特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会)

委員) 立地から大学生の利用拡大は難しいと思うが、勧誘方法は。

団体) 近隣に大学はないが、ダンスでの利用者が増えており、サークルの利用あり。

バドミントン・バスケットは若年層の利用も多く、地域のニーズを見ることで利用に繋がると考える。高校卒業後の利用も視野に、大学を絞らず取組を考えている。高校生のターゲットにした事業は検討していないが、気楽に居心地よく使ってもらえる空間でありたいと思う。

委員) 駐車場の問題について。また、防災の観点からも利用者間での繋がりが作れるよう、個人利用を大事にしてほしい。

団体) 混雑発生時は、呼びかけするが聞き入れてもらえないこともある。根気強く理解を求めたい。利用しやすい環境も大切だが、個人利用がすぐ埋まる状況も踏まえ、利用者の意見も聞きながら、対応を検討する。

委員) 合築のケアプラザとの棲み分けについて。

団体) 自主事業は被らないようにしており、上手く連携はとれている認識。

委員) 料理室の利用率が低い印象。仲間作りの場ともなるような、一人暮らしの大学生を対象とする料理教室があったらいい。

団体) 男性向け講座はあるが、若い方が参加しても続かない。より若い方に向けた健康面・食事面・社会に出てからのことも考えた事業の検討をしたい。

(6) 六浦スポーツ会館

ア 団体A (特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会)

委員) 人員配置について。

団体) 公募要項に基づき、常時1名。

委員) 夜間の1人体制について。

団体) 防犯カメラで確認しており、不審者であれば、通報の対応としている。

委員) 災害時や急病人発生時の対応について。

団体) 警備システムで異常があれば駆けつける契約となっている。予測が可能な災害については、レベル3の警報が出た場合は早々に利用者に避難を促す。事務局が10分ほどの距離にあるためサポートする。

委員) 空調設備がない中での1人体制は負担が大きいのでは。

団体) 体育室には大型の扇風機を設置している。スタッフには無理はしないほしいと周知している。事務室と会議室にはエアコンがあり、利用者の急病にはそれらを活用して対応している。

委員) 小中学生対象の教室レベル感、対象者について。

団体) できる限り初心者の方向けの教室としている。

(7) 柳町コミュニティハウス

ア 団体A (特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会)

委員) 花火大会の開放はいつからか。利用者促進策として良い。

団体) 2年前から。

委員) 施設周辺地域への広報は課題ではないか。

団体) 運営委員会でも課題とされ、掲示板・回覧板に掲示はしている。SNS活用するも浸透しきれていない。地域から町内会館の延長として使用できる意見を

もらったので、少しずつ浸透を期待したい。また、広報の範囲を広げたことで、指定事業の問い合わせも増え、効果あったと認識している。

委員) 地域のイベントと連携しての取組は面白い。

(8) 並木コミュニティハウス

ア 団体A (特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会)

委員) 団体の経費削減 (特に管理費・人件費) が必要になると思う。将来にわたる団体の継続性・運転資金面に不安がある。収支改善を願いたい。

団体) 大きな影響を与えているのは人件費。社会情勢を踏まえ、令和4年度から賃上げ実施。賃上げ当初は、横浜市による補てんが無かったが、令和7年度には1年分の上昇分が補てんされるようになった。補てんを受け、適切な執行に努めた結果、300万弱の赤字に改善できたとの認識。補てんがあれば、赤字を縮小し、繰越利益分を減らさない運営が可能と考えている。今後の状況を踏まえて、対応を検討する。

委員) 異文化交流事業の活動について。

団体) 利用者に国際交流ラウンジの利用団体があり、その方を通じて交流している。

委員) 周辺地域施設との連携がいい。接客の3原則もとても大切なことと思う。

2 指定候補者の選定審議

各委員から講評を行い、採点を行った。集計結果は以下のとおり。

※①合計点 ②加減点項目を除いた合計点

<六浦地区センター>

株式会社有隣堂 ①687点/925点 ②597点/800点

特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会 ①606点/925点 ②557点/800点

<富岡並木地区センター>

株式会社有隣堂 ①679点/925点 ②592点/800点

特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会 ①604点/925点 ②554点/800点

<金沢地区センター>

特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会 ①632点/925点 ②555点/800点

<釜利谷地区センター>

特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会 ①637点/925点 ②554点/800点

<能見台地区センター>

特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会 ①649点/925点 ②565点/800点

<六浦スポーツ会館>

特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会 ①572点/875点 ②506点/750点

<柳町コミュニティハウス>

特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会 ①646点/875点 ②561点/750点

<並木コミュニティハウス>

特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会 ①613点/875点 ②533点/750点

(講評)

(1) 六浦地区センター

ア 指定候補者（株式会社有隣堂）

本が充実した環境、企画面等参加しやすいメニューが多いなど利用者の満足度が高いと感じられる運営及び地域へのふれあい方の具体性について評価された。一方、地域ニーズの把握については今後の課題であり、地域をきちんと把握し、更なる連携に期待したい。

イ 次点候補者（特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会）

団体と地域との繋がりにおいて安心感がある点と、長年区内施設の運営を担いノウハウを持つ点が評価された。子供たちの居場所づくりの提案について評価された一方、利用促進策は更なる工夫や具体化が期待される。また、財務面については、具体的な収支改善策が十分に示されず、懸念が残った。

(2) 富岡並木地区センター

ア 指定候補者（株式会社有隣堂）

本が充実した環境、企画面等参加しやすいメニューが多いなど利用者の満足度が高いと感じられる運営及び地域へのふれあい方の具体性について評価された。また、若年層の利用促進に向けた取組も評価された。一方、地域ニーズの把握については今後の課題であり、地域をきちんと把握し、更なる連携に期待したい。

イ 次点候補者（特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会）

団体と地域との繋がりにおいて安心感がある点と、長年区内施設の運営を担いノウハウを持つ点が評価された。地域の高齢化や外国籍住民の増加といった地域課題を認識し、地区センターとして地域づくりに貢献しようとする姿勢は評価できる。一方、利用促進策は更なる工夫や具体化が期待される。

(3) 金沢地区センター

ア 指定候補者（特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会）

団体と地域との繋がりにおいて安心感がある点と、長年区内施設の運営を担いノウハウを持つ点が評価された。また、金沢公会堂との連携事業や横浜市立大学の学生と連携した取組についても評価できる。若年層利用促進への意欲を感じられた。

(4) 釜利谷地区センター

ア 指定候補者（特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会）

団体と地域との繋がりにおいて安心感がある点と、長年区内施設の運営を担いノウハウを持つ点が評価された。また若年層の利用促進を意識した提案は評価できる。既存利用者だけでなく、若年層・子供たちにも情報が届き利用に繋がるような取組を期待したい。

(5) 能見台地区センター

ア 指定候補者（特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会）

団体と地域との繋がりにおいて安心感がある点と、長年区内施設の運営を担い

	ノウハウを持つ点が評価された。また、合築施設との役割分担を意識しながら運営している点も評価できる。高校生・大学生など若年層の利用促進を意識した取組・提案について意欲を感じた。 (6) 六浦スポーツ会館 ア 指定候補者（特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会） 団体と地域との繋がりにおいて安心感がある点と、長年区内施設の運営を担いノウハウを持つ点が評価された。初心者向け教室の実施など、利用しやすい施設運営に取り組む姿勢は評価できる。一方で、運営体制について災害時等安全管理及び危機管理の面で懸念が示された。一人体制を見込んでいる市の指定管理料算定にも問題はあがあるが、夜間や緊急時を想定した対応体制について、更なる検討を期待したい。 (7) 柳町コミュニティハウス ア 指定候補者（特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会） 蔵書など施設のポテンシャルは高く、地域イベントとの連携など地域に根差した運営は評価できる。一方で、地域住民の認知度が十分とは言えず、施設構造起因の入りづらさや情報発信が課題として見受けられた。今後は広報活動の充実等により、施設の認知度向上と更なる利用促進を図ることを期待したい。 (8) 並木コミュニティハウス ア 指定候補者（特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会） 団体と地域との繋がりにおいて安心感がある点と、長年区内施設の運営を担いノウハウを持つ点が評価された。また、周辺施設との連携、接遇を重視した施設運営の姿勢は評価できる。 (各指定候補者へのコメント) (1) 特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会 施設運営面では問題ないが、財政状況の赤字は団体の継続性の面から大きな懸念点である。対応の検討について強く要望する。地域の施設を担う団体として持続可能となるよう財務の健全化を図ってほしい。また、地域との繋がりを持つ団体であるが、地域への広報活動とニーズを把握するための新たな努力に期待したい。 (2) 株式会社有隣堂 地域の方を大切に、地域の方のニーズを汲めるように地域と連携してほしい。また、地域の施設を管理する立場のため、地域のことをきちんと把握し、更なる連携をお願いしたい。
資料・特記事項	1 配付資料 第2回選定委員会の当日のスケジュールについて 財務の健全性について（団体A・B） 2 特記事項 なし